



関西大学なにわ大阪研究センター特別研究「なにわ大阪『笑い』文化の再検討」班
 + 地域活性学会関西支部 + 大阪春秋編集室 共同公開研究会

なにわ大阪の 暮らしのおもしろさ ~ 地域とのつながりを考える

なにわ大阪の「笑い」の文化を考える上で、落語や漫才といった演芸の会ばかりではなく、大阪という土地でどのような文化的な活動が取り込まれているかを考える視点も必要となります。

今回は、地域活性学会関西支部、大阪春秋編集室と共同で研究会を開催し、「続き読み講談*のこし隊」で上方講談の伝承に取り組まれる石津ご夫妻、『定年後』（中公新書）著者の楠木新氏をお招きし、なにわ大阪の「笑い」の基盤となる地域文化にどのような形で関わるかを考察します。

2019 12月 7日 (土) 13:00 ~ 16:00

関西大学千里山キャンパス

なにわ大阪研究センター 1F セミナー室

参加
無料

要申込

定員 = 80名 (先着順)

■ プログラム

13:00 開会にあたって
 橋本行史氏 地域活性学会関西支部長
 浦 和男 関西大学なにわ大阪研究センター

13:05 ~ 14:05 講演1
 話芸の絶滅危惧種
 『講談の原型』をのこす！
 石津良宗氏
 続き読み講談*のこし隊主催



14:15 ~ 15:15 講演2
 定年後と地域活動
 ~なにわ大阪の場合
 楠木 新氏
 神戸松蔭女子学院大学
 人間科学部教授



15:20 ~ 15:55 質疑応答と総括討論

16:00 閉会

■ お問合せお申込み 関西大学 なにわ大阪研究センター naniwa-osaka@ml.kandai.jp
 ※地域活性学会会員の方もご面倒でもお申し込みください。

